



学校だより

日野南小学校ホームページ

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/hinominami/>

平成 29 年 2 月 28 日

3 月号

横浜市立日野南小学校

子どもも先生も成長

校長 竹内 裕子

花壇には咲きそろった水仙の花が甘い香りを漂わせ、ひょうたん山の梅はかわいらしい花の数を日に日に増しています。冷たい風の中でも、春がもうそこまで来ていることが感じられます。

いよいよ一年の締めくくりの時期です。3月18日には83名の6年生に卒業証書が手渡されます。最高学年の6年生は学校生活のあらゆる場面でリーダーとなり活躍をしてくれました。お世話になった学校へ自分たちでできる事をと奉仕活動をしている姿を見てとても嬉しくなります。また、今年度入学した1年生も学校生活に慣れ、あどけなさの中にも自信あふれる様子が多く感じられるようになりました。2月の音楽朝会では体育館のステージで歌と合奏を披露しました。4月に比べなんと大きくなったことでしょう。入学式で見た子供たちを思い出すとよくわかります。2年生から5年生も学年の発達にふさわしい成長ぶりです。日々接していると感じられないこともあります。教室や廊下等に掲示されている作品などを見ると、子どもたちの頑張った様子がわかり成長を実感できます。そんな子どもたちを次のステージに送るのも私たちの務めですが寂しさもあります。

子どもたちとの会話の中で「校長先生が担任のころはね……」と言うと、「校長先生って、担任だったの」と驚いたような言葉が返って来ます。担任だったころのことを思い出すと、毎年3月は一年間一緒に過ごしてきた子たちとの別れの月でもあるので寂しさも感じていました。まだ先生になって間もないころのことです。ある日授業を公開することがありました。授業は子どもたちの発言がないと進みません。はたしてこちらの言ったことに反応してくれるだろうか、色々と準備はしてきたもののとても心配でした。当日は朝から落ち着かなく、それが子どもたちにもわかったようです。そこでたくさんの先生が授業を観に来ること、その後授業についての話し合いがあることという内容の話をしました。するとみんな発言するのをがんばると言ってくれたのです。その通り子どもたちがたくさん考えを言ってくれ、私を支えてくれました。翌日のことです。「先生、昨日の話し合いどうだった」ときくので、みんなのお陰でたくさんほめられたと伝えるとにこにこ顔になりました。私が落ち込むことを言われなにか心配してくれた心遣いに胸が熱くなったものです。そうやって子どもたちに助けられ一緒に成長してきたのですから、別れたくないという思いが大きく膨らみました。先生は子どもたちと出会い、共に喜んだり悲しんだりしてクラスを築き上げていきますが、それがどんなに素敵なことか今になって改めて感じています。若い先生たちはきっと担任である醍醐味を味わい、子どもたちに負けないように成長していく事でしょう。

最後になりますが、今年度の教育活動にあたり、保護者や地域の皆様にご支援、ご協力をいただきましたこと心より感謝いたします。そして地域の方が温かく、素敵な子どもたちのいるこの日野南小学校がこれからも発展していく事を願っています。